

# 町長年頭

## あいさつ



鏡野町長  
山崎 親 男

新年、あけましておめでとうございます。  
皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本町におきましては新町として六年目を迎えることができました。このことは、議会議員の方々をはじめ、町民皆様方の町政振興に対するご理解とご支援の賜物と衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は国においては国政選挙により参議院の野党多数といったねじれ現象が再燃し、政権与党にとつては難しい舵取りを余儀なくされているところであります。

また、円高も大きく影響し依然として長い不況から脱却できない状況が続いています。

そうした中、明るいニュースとしては、鈴木、根岸両教授のノーベル化学賞の受賞、又スポーツ界におきましても様々な選手が世界中で活躍され、人々に感動と希望を与えてくれました。

本町におきましては、昨年は納涼花火大会、そしてマラソン大会など数多くのイベントを実施しましたが、とりわけ町民の皆様のお力添えによる第二十五回国民文化祭「短歌大会」、そして大相撲作州鏡野場所が開催されましたことは、鏡野の知名度アップ

に大いに貢献いただいたものと確信しております。

さて、迎えます二十三年につきましては、少子高齢化対策、農林水産業の活性化などを始め、行政全般に対する施策推進のため、の財源確保等、様々な問題が山積いたしました。子育て支援の充実、雇用・定住化の促進、循環型社会の形成、住民のまちづくりの推進、消防・防災対策の推進の五項目を重点施策として取り組むと共に、第二次行財政改革の推進、教育の充実と公共交通体系のフラット化などについて引き続き推進して参ります。

低迷している観光関係につきましては、新たな方策により支援して参りたいと考えております。

また、「住民のまちづくりの推進」であります。地域の抱える課題について自主的に地域づくりに取り組んでいただいております。「未来・希望基金事業」につきましましては、今年に更に充実させていただき、地域の持つ創造力をフルに発揮して事業を推進していただきますようお願い申し上げます。

また、基幹産業であります農林業につきましては、国が交渉の検討を進めるとして「環太平洋戦略的経済連携協定」、いわゆるTPPへの参加いかににより今後大きな影響が予測されるとこ

ろであり、参加の場合は、地方により多くその恩典がなければならぬものと存じておりますが、その動向を注視し、当面は引き続き、消費者の方へ安全な、そして安心していただける物づくりの推奨とその基盤整備を推進して参りたいと思っております。

常に申し上げておりますが、鏡野町には先人達が培ってきた有形無形の数多くの素晴らしい文化や資源があります。今後はこれらの財産を活用して町全体を活性化させていきたいと存じております。

しかし、行政には限界があります。どうか皆さん一人ひとりが、生まれそして育ってきた鏡野町に誇りを持つていただき、まず鏡野町らしさを強調し、身近な良いところをPRしていただき、住んで良かったと体感できるまちづくりにご協力いただきたいと思います。

本年も、ぬくもりのある安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、合併後、今日まで築き上げたものに決して満足することなく、挑戦して参る所存でありますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとつて健康で幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

平成二十三年 元旦